

創造的思考力で地域貢献

史跡高松城跡「玉藻公園」内にある、歴史ある和の空間、国重要文化財指定「披雲閣」を借りて、生徒が行うワークショップ。
 生徒は、学校で学習したことを活用して「披雲閣」を訪れた人たちをもてなす。



平成27～30年度まで文部科学省の研究指定を受け、新領域「創造表現活動」を設置し、「コミュニケーション能力」「創造的思考力」を育成する教育の充実を目指している。

生徒の表現は、映像制作や演劇学習、「さぬきマルシェ」への出店など、コミュニケーションの場を広げている。

歴史ある和の中で

畳敷きの和室に美術の授業で作った作品が並べられ、ことわざカルタ、古地図のパズル、竹とんぼ作り、科学体験ワークショップ等が行われ、抹茶のお接待も行う。

附属中学校発の企画が、地域住民や地域の学校に還元される取組となっている。



平成3年～5年 人間科
 平成10年～12年 共生科
 平成20年～23年 未来志向科
 平成27年～30年 創造表現活動

四回 の研究開発指定

弁当、心、重ねて



いじめの早期発見「どこでも弁当」

毎月1度、生徒が教室を出て、校内の自由な場所で弁当を食べることができる生徒会主催の大人気企画である。

この企画で、教職員は生徒と一緒に弁当を食べたり、生徒の様子を写真におさめたりすることを通して、普段は見られない生徒の様子や人間関係等の生徒理解ができています。そのため、悩んでいる生徒の早期発見やいじめ防止につながっている。

目標世界遺産登録「お遍路」

四国八十八カ所やお遍路さん、お接待について学び、「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録を目指している四国4県の取組に協力している。



平成27年にはスペイン・ガリシア州と四国4県の協力協定締結に合わせて、生徒3人がスペインに渡航し、お遍路の白衣姿で世界遺産「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」を歩いた。その体験を校内文化祭において展示発表した。

四国お遍路 接待、



第八十三番札所「一宮寺」においてお接待を体験。お遍路さんや地域の方々との交流を通して、四国の文化であるお接待の心について学ぶとともに道徳的実践力を養っている。